

# 平成20年度「小中高 夢のかけ橋推進事業」実施報告書

東京都立成瀬高等学校  
全日制課程

## 1 計画の概要

- ・本校と近隣の幼稚園・保育所、小・中学校との連携を深める。具体的には、授業や行事、部活動を通して、学校間の交流、異年齢交流の機会を積極的に設ける。これらの活動を通して、生徒の社会性や協調性の伸張、幼い子供たちに対する思いやりを育み、豊かな心と人間性の育成を目指す。
- ・地域との様々な交流を通して「開かれた学校づくり」を推進することにより、地域住民の本校に対する理解を深め、信頼を高める。

## 2 実施内容

- ① 成瀬くりの家保育園との連携
  - ・3年「フードデザイン」の食育実習を行う。3年生8名が年間2回、食育の取組を早くから実施している「くりの家保育園」で、園児の昼食づくりの補助をする一方で、園児と一緒に食べて楽しく交流を行っている。
- ② 小学校との連携
  - ・南成瀬小学校での「ふれあいこども祭り」の運営や手伝いをボランティア部が中心となって行う。
  - ・町田市青少年健全育成第二委員会主催、南成瀬子供教室「たからじま」へ参加する。
- ③ 成瀬台中学校との連携
  - ・成瀬台中学校2年生全員を、3学期の後期に本校に招き高校授業体験を実施する。
- ④ 「にじいろ花壇」での交流
  - ・町田市と連携した花壇の整備を通して地域の住民や子供との交流を図る。
- ⑤ 奉仕体験で、地域住民（NPO）の管理する、冒険遊び場「たぬき山」との連携により、幼児、小・中学生とともに遊び場の整備、並びに遊びを通しての交流を行っている。
- ⑥ オープンスクール（中学生対象）で、模擬授業並びに生徒主導の部活動体験を実施する（上写真）。



## 3 成果と課題等

### 【成果】

- ・保育実習は2年生の必修選択科目「演習保育」の中で行っているが、キャリア教育の観点からも、また自分の将来の父親像、母親像をさぐる意味でも、保育学習の意義は大きい。
- ・ボランティア部の活動は地域公共団体や施設、小学校、自治会などから高く評価されている。今年度もソロプチミスト日本財団から本校のボランティア活動全般に対して、社会ボランティア賞が贈られている。
- ・奉仕体験では、地域清掃活動、社会行事の支援、地域の子供遊び場の整備活動等に積極的に参加する中で、本校に対する理解も深まり、地域住民からの協力的で建設的な意見並びに参加要請が多く寄せられるようになってきた。（右写真）

### 【課題】

以上の事業を実施する大きな力は、教職員の理解と意欲、生徒や学校に対する熱い思いにある。しかし、退職、異動等で、実施が危うい事業も出てきているし、数年後には実施できなくなると思われるものもある。学校経営上、重要なものと位置付けているだけに、人が変わっても事業を継続していくことができるような実施上の工夫が必要である。

